



2024年(令和6年)
2月9日
金曜日

県、中小酒蔵向け実証実験

県産日本酒 東港から輸出

ベトナムに出荷

中小規模の酒蔵でも輸出に
取り組みやすくなるよう、県
がIT企業などと連携して取
り組んだ本年度の実証実験の
集大成として、1月下旬に尾
畑酒造(佐渡市)の日本酒が
新潟東港からベトナムに出荷
された。一連の取り組みが有
効だったかどうかを検証し、
市場が拡大傾向にあるア
ジア向けの販路拡大や、新潟
東港を活用したルートの構築
につなげる。

実証事業は輸出産地の形成
を目指す農林水産省の事業を
活用した。2022年の県産
日本酒輸出が決まった。各種
手続きではIT大手ヒプロジ

アジア販拡、ルート構築を



日本酒の積み込み作業が行わ
れ、21日出航した。韓国・
釜山を経由し、近くベトナム
の港湾都市ハイフォンに到着
する。ベトナム国内では主に
レストランなど飲食店で提供
される予定という。

日本酒約1600本を出荷
した尾畑酒造の尾畑留美子専
務は「ベトナムは若い人口が
多く、日本酒の市場が広がる
将来性がある」と期待を込め
る。

県地場産業・日本酒振興室
の清水佑貴政策企画員は「新
潟東港から新たな輸出の実績
ができたので、商流として確
立できるようにしたい」と話
した。

1月17日に輸送を担う中越
運送の新潟東港ロジスティク
スセンター(新潟市北区)で
写真▶新潟東港からベトナムに
輸出する日本酒をコンテナに運
び込む作業▶新潟市北区